



## 2023年度 駒場東邦中学校生徒募集要項

駒場東邦中学校  
〒154-0001  
東京都世田谷区池尻 4-5-1  
電話 (03) 3466-8221

1. 募集人員 男子 240名

2. 応募資格 2023年3月に小学校卒業見込みの男子で、高等学校卒業後、  
大学へ進学する希望を持っている者。

3. 出願

(1) 出願方法 インターネット出願のみ

(2) インターネット出願の手順

出願に必要な情報の入力

↓  
本校のホームページより出願サイトへアクセスし、画面の指示に従って入力してください。

このとき、受験生の写真データをアップロードする必要があります。

受験料の納付

↓  
クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーから選択できます。

受験票の印刷

↓  
受験料の納付完了後、出願サイトから印刷できるようになります。

受験票は試験当日に必ず持参してください。

(3) 出願期間 2023年1月10日(火) 10:00から

2023年1月26日(木) 16:00まで

(4) その他 納付された受験料はいかなる理由であっても返還いたしません。

また受験料の納付完了後に、出願情報の内容・変更や修正することはできません。

4. 受験料 25,000円

5. 学力試験

(1) 入試日 2023年2月1日(水)

(2) 試験科目

8:30~9:30	9:45~10:25	10:40~11:40	11:55~12:35
国語	社会	算数	理科

試験当日は8:00までに各試験会場(教室は当日指示)に集合のこと。

## 6. 合格発表

・発表日 2023年2月2日(木) 9:00 於玄関ホール

合格発表は出願サイトでも閲覧可能です。合格者は事務室で受験票を提示し、「入学手続きに関する書類」と「合格証」を必ず16:00までにお受取りください。電話でのお問い合わせにはお答えできません。またご家庭への合否の連絡はいたしません。(玄関ホールでの発表は16:30まで掲示いたします。)

## 7. 入学金納付手続

2月2日(木)の16:00までとします。

合格者は出願サイトの手順に従ってクレジットカード決済のみによる納付手続をおこなってください。入学金納付後、入学を辞退する場合は、速やかに入学辞退の旨を申し出てください。ただし、入学金はいかなる理由であっても返還はいたしません。

## 8. 合格者招集

2月2日(木)に入学手続を完了した者は、2月11日(土・祝)の13:00(厳守)に合格証を持参のうえ、合格者本人と保護者1名の2名で登校してください。当日登校し受付確認をもって本校入学予定者といたします。なお、当日欠席の場合は本校に入学の意思がないものとみなし、入学の許可を取り消します。

## 9. 学費等 2023年度(予定) ※変更手続き中

			納入時期
学費	●入学金	300,000 円	入学手続時
	●授業料	年額 492,000 円	4期分納
	●施設維持費	年額 48,000 円	4期分納
その他	●後援会費	年額 270,000 円	4期分納
	●生徒会費(入会金1,000円含む)	年額 8,000 円	入学後
	●PTA会費(入会金5,000円含む)	年額 10,000 円	入学後
寄付金	●教育充実寄付金(任意) (入学年度のみ後援会に対して)	300,000 円 以上	入学後

※各種奨学金制度、学費減免制度があります。本校HPでご確認ください。

※学費等については、年度により改定される場合があります。

※中学から高校への内部進学の際も所定の入学金を納付していただきます。

(参考:2022年度は15万円)

## 10. その他

- (1) 自家用車でのご来校はご遠慮ください。
- (2) 上履きは必要ありません。
- (3) 「入学試験当日に関する諸注意」や「学力試験受験心得」は本校のホームページをご参照ください。



2022年10月実施

# 駒場東邦中学校・高等学校 学校説明会

お越し頂き、ありがとうございます。  
満席となりますので、前方から  
詰めておかけくださいますよう、  
ご協力をお願い致します。



## 本日の説明会の流れ

1. 学校長より
2. 各教科の教育活動について
3. 進学指導について
4. 中学入試について
5. 学校行事・クラブ活動等について
6. 施設見学・質問コーナー（希望者のみ）



# 配付資料

封筒の中に入っているかどうかご確認ください

1. 学校案内
2. 生徒募集要項
3. 学校説明会スライド原稿抜粋  
→ 中学入試・出題傾向などについて (水色)
4. 受験生のための Q&A (緑色)
5. 校舎平面図 (施設見学順路) + 見学に関するお願い
6. 学校周辺マップ
7. 学校説明会アンケート

## 駒場東邦の学習のフィールド

国際理解  
教育

生徒自治に  
よる部活動

授業こそ  
探求する場

多彩な  
学校行事

課外活動も  
多種多様

自ら考え、自ら行動する

～感受性、論理的思考力、判断力を磨き、自分の言葉で表出する～



## 駒場東邦の教育を支える言葉 ①

### ▶ 「自主独立の気概」と「科学的精神」を養う（菊地龍道初代校長）

⇒「頭脳を資源化」して天然資源の貧しさを克服し、青少年に楽しい夢、明るい希望を回復する。

⇒科学日本を築き上げ人類の福祉を高める仕事に活躍できる有為な人材を育成する。

### ▶ 「誠あれば熱あり、熱あれば光あり」（菊地龍道初代校長）

⇒若い青年が使命感を持って、本当に一生懸命になれば、つまり真心を込めるといことだね、そうすれば、必ずそこで熱烈に事をやる。熱烈に物事をやれば必ずそこに好結果、いわゆる栄光というものがある。

## 駒場東邦の教育を支える言葉 ②

### ▶ 「Slow but Steady」（高山政雄第2代校長）

…ゆっくりと、しかし着実に（継続は力なり～水滴石をも穿つ）

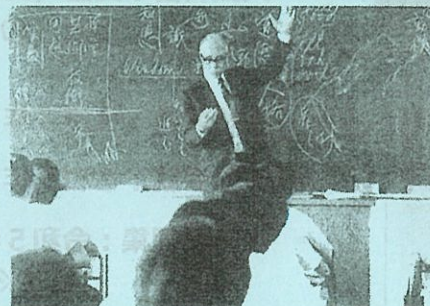
⇒第一は真面目な勉学、換言すれば堅実な基礎学習の上に立つ  
錬磨、英語でいうSlow but Steadyの学習であり、菊地先生の  
いわゆる「積み重ねの学習」がこれである。本校の特色としてさ  
らに育てたい。

### ▶ 「3F精神」（高山政雄第2代校長）

Fighting spirit…闘志を胸に立ち向かおう

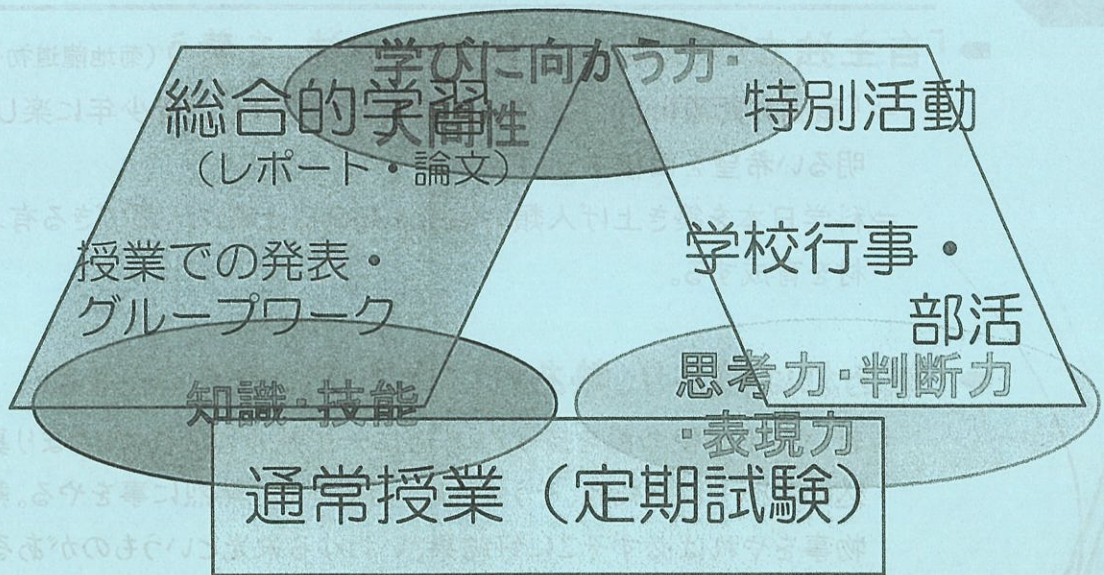
Fair play…正々堂々と、そして公明正大に

Friendship…そこに、本物の友情が生まれる





# 駒場東邦の進学指導



## 中学入試について

- 学力試験：令和5年2月1日（水）  
※ 8時00分までに各試験会場（教室は当日指示）に集合。
- 入試科目：国語（60分）120点 社会（40分）80点  
算数（60分）120点 理科（40分）80点  
合計 400点満点
- 合格発表：令和5年2月2日（木）9時から
- 入学手続：令和5年2月2日（木）16時まで
- 合格者招集：令和5年2月11日（土・祝）13時（厳守）  
※ 欠席者は入学を辞退したものとみなします。



# 中学入試状況

## 過去3年間の中学入試統計

年度	令和4年度			令和3年度			令和2年度			
志願者数	565			645			605			
受験者数	555			623			576			
合格者数	292			285			290			
合格者最低点	215 (53.8%)			238 (59.5%)			242 (60.5%)			
	配点	受験者 平均	(100点 換算)	合格者 平均	受験者 平均	(100点 換算)	合格者 平均	受験者 平均	(100点 換算)	合格者 平均
国語	120	78.3	(65.3)	83.8	67.2	(56.0)	72.8	60.8	(50.7)	66.9
社会	80	46.6	(58.3)	50.1	50.5	(63.1)	54.8	49.6	(62.0)	53.9
算数	120	35.5	(29.6)	42.6	60.6	(50.5)	73.0	74.0	(61.7)	84.0
理科	80	54.7	(68.4)	58.5	54.2	(67.8)	59.4	55.1	(68.9)	59.3
合計	400	215.1		235.0	232.5		260.0	239.5		264.1

無事に入試を突破され、ご入学された際に、  
保護者の方に学校に来ていただく機会

4月 新年度最初の保護者会

学年の全体会、クラスの会

6月 学年保護者会

学年の全体会、クラスの会

11月 保護者個人面談

担任・保護者の2者面談



## 各教科の出題傾向【国語】

- 平成 10 年度より、長めの文章1 題に絞って出題。
- 文脈を正確に読みとり、自分自身の言葉で表現する力を重視。
- 基本的な言葉の知識と、教育漢字（小学校で習う漢字）全般の習得を心がけてください。
- 漢字の書き取りは「とめ・はね・はらい」「字形」にも注意して書いてください。

## 各教科の出題傾向【社会】

- 様々な社会問題を学習していくために必要な基礎知識、思考力、そして、表現力がどれだけ身についているか。
- 問われる知識自体は、小学校の教科書にでてくることから、および小学生でも知っておくことが望ましい時事的なことがらに限られる。
- 「なぜ?」「どうして?」をじっくり考えながら、歴史・地理・公民という枠にしばられない視点を持って理解を深め、考えたことを的確に表現できるよう心がけてください。



## 各教科の出題傾向【算数】

- 設問は計算が正確にできるか、理解力はあるか、発想はどうか、などの設定基準が設けられている。
- 日頃からひとつの題材をいろいろな角度から分析する習慣を身につける。
- 答えを出すにあたって、どう考えたかを他の人に伝えられるような表現力を身につける。
- 「予想の出し方」「答えの出し方」「確かめ」などを記入する解答欄があります。自分がどのように考えたかを表現してください。

## 各教科の出題傾向【理科】

- 小学校理科の学習内容全般にわたって正確な知識と思考力を試す問題を出題。
- 小学校で学習した「物質・エネルギー」「生命・地球」の各分野全体について出題。
- 普段から身の回りの自然現象について、「どうして、どうなるか」と自らの頭で考え、実験で確かめたり、よく観察をしたりして、科学的に考え説明する習慣を身につける。

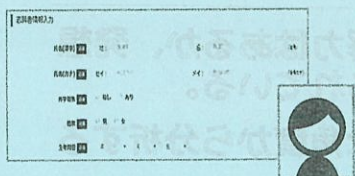


# インターネット出願



入学試験出願

出願期間中、ホームページに設置されたバナーをクリックし、出願サイトへ移動



- ・マイページへログイン
- ・顔写真をアップロード
- ・志願者情報を入力
- ・受験料のお支払い方法を選択

\* 受験料お支払い \*



お支払い完了後、マイページより受験票をダウンロード・印刷

※詳細手順はホームページにて公開

## 受験票

切り取って、入試当日に持参

2023年度  
駒場東邦中学校  
受験票

受験番号

0

フリガナ

ミライ

ツバサ

氏名

未来

翼



試験日	試験名
2月1日(水)	駒場東邦中学校 入学試験

2月1日(水) 8:00集合	
国語	8:30 ~ 9:30
社会	9:45 ~ 10:25
算数	10:40 ~ 11:40
理科	11:55 ~ 12:35

学力試験当日は、受験票、筆記用具、直定規または三角定規、コンパスを忘れずに持ってきてください。

入学手続きには、受験票が必要となりますので、無くさないようにしてください。

下敷、分度器、時計は、試験中使用できません。

学校HP上にアップしている『入学試験当日に関する諸注意』『受験者心得』を必ず読んでください。

駒場東邦中学校

受験票は、事前にキリトリ線より切り離して、試験当日にご持参ください。





## 駒場東邦中学校・高等学校

### 受験生のための Q&A 2023

#### 〔沿革・理念〕

Q. 駒場東邦は、いつ、どのようにしてできたのですか。

A. 昭和32年(1957)に創立されました。設立者は、学校法人東邦大学理事長だった額田豊、初代校長は菊地龍道です。額田は、大正時代にヨーロッパに留学したときに、「彼の地に比べて日本は科学的合理的な精神において立ち後れている、これからの日本の若者は、理科系に進む若者だけでなく、すべての人が科学的合理的な精神を身につける必要がある、それには青少年時代からの教育が必要だ」ということを痛感しました。

敗戦後額田は、東邦大学の復興に心を砕くと共に、真に科学的合理的精神を持った人材を育成するためには、中等教育の充実が重要であると考えました。そこで、ちょうど都立日比谷高校校長の職を退いた菊地龍道に白羽の矢を立てました。額田の科学尊重の識見に共感した菊地は、公立校で果たせなかった自身の夢を、この新設校なら実現し得るかもしれぬと考えてこの招請に応じ、本校が設立される運びとなりました。

当時名校長の呼び声の高かった菊地を慕って、全国から教員が集まり、そこで菊地は、理数科重視の基礎教育の充実、中高一貫の6カ年教育などの新機軸を、どんどん打ち出していきました。

Q. 建学の理念について教えてください。

A. 初代校長・菊地龍道は、「科学的精神」と「自主独立の気概」を養うことを本校創立の理念として掲げました。これは、日本の天然資源の貧しさを克服するために頭脳を資源化することを可能とする方途であり、ようやく戦後の復興期から抜け出そうという時代にあって、日本の若者たちが将来に楽しい夢や明るい希望を描くことを願ってのことでした。この願いは、時代が変わって、右肩上がりの成長を信じていたときを経て、グローバリズムへの一気の傾きを経験し、極端に細分化した情報が取り交わされ価値観の多様化の中で果てしなく変化と忘却を繰り返す現代に至っても、私たちが変わらずに持ち続けているものです。自然科学を学ぶ者だけでなく人文科学や社会科学を志す者も、地球上のあらゆる現象を

自分自身の感性によって捉え、それを科学的合理的な考え方で体系化していこうという不断の取り組みを通じて、世界に独立した“ひとり”として立って、人類の福祉を高める仕事に活躍する人物となってほしい。それが私たちの念願です。

Q. 教育目標はどのようなものですか。

A. 生徒・教員・保護者の三者相互の理解と信頼によって明るく楽しい学園をつくり、生徒各自の個性を伸ばし、能力を高め、豊かな知性と科学的教養を身につけた、健康で実践力に富む有為な人材を育成することです。

#### 〔教育方針〕

Q. 学校の雰囲気はどのようなものでしょうか。

A. 都心にありながら広々とした校地と充実した施設をそなえ、生徒はのびのびと学校生活を過ごしています。学校行事やクラブ活動は、基本的に生徒の自主性が尊重されます。生徒たちは、様々な場面で、各々の得意分野におけるこだわりを發揮しつつ、安全性や妥当性について教員と十分に話し合いながら実現を目指します。あらゆる生徒に個性を發揮するチャンスがあり、生徒たちは自ずと互いの個性を認め尊敬し合うようになります。こういったところから、和気藹々とした雰囲気か醸し出されてきているのだと思います。

Q. 駒場東邦では、生徒にどのように育ってほしいと考えていますか。

A. 生徒諸君には自主独立の気概を存分に伸ばしてもらいたいと考えています。日々の授業においては、与えられた課題をこなすだけではなく、発表や討論を通して生徒自身が自らの発想や思考を対象化する機会を多く設け、クラブ活動や課外活動では、自主性をもって思い通りに実践する場をどんどん経験してもらうなかで、次の学びへの動機や使命感を培ってほしいと思っています。うまくいかないことも多いとは思いますが、失敗の経験こそ多くを学ぶチャンスであり、そこから、しっかり根拠をもった体系的な思考による科学的合理的な精神が育てられていくと考えます。

生活面においても自主性を持てることが重要であると考えています。先に述べた科学的精神に則って自分の目で世界を広く見ていくなかで、一人一人が自分なりの価値観を養っていくことを通じて、むしろ自分とは違った多様な価値観を想定しつつ、他者への寛容さを得ることができていくのだと思います。そしてそれが、将来、しっかりした人権意識や平和を希求し続ける情熱をもった、公平・公正な倫理観を獲得していくことにつながっていくものと確信します。この倫理観による規範意識は、若い生徒たちが本校を巣立って、



ますます不透明さを増していくであろう世界を生き抜いていくにあたって、各々の生活の安寧を保持するとともに、人類の福祉に貢献する有為の人物となるために、欠くべからざるものであると考えています。

Q. 中高完全一貫教育のメリットはどういうところにありますか。

A. 学習面においては、中学・高校の内容を一貫したものととらえて有機的系統的に整理し直したことで効率的な授業を実施しています。それにより、生徒たちはより広くて深い理解が得られると考えています。生活面では、高校受験を意識することなくクラブ活動などに思う存分打ち込むことができ、一人一人の才能をのびのびと育むことができます。また、高い志を共有しながら培った友人、先輩、後輩との絆は、生涯のかけがえのない財産となっています。

よく、高校受験という大きな関門がないことによって慣れや情性による気の緩みが生じるとされ、それが“中だるみ”と称されるわけですが、人生において最も多感な時期を迎えて、生徒諸君がなりたい自分と現実の自分とのギャップに悩むのは当然のことです。むしろ、自己実現への長い歩みの中で、この悩みに正面から向き合うことは必要不可欠なことであり、受験の可否という結果に一元化されるような試練の中に身を置かずに、悩むことに十分な時間をかけられることは、将来への着実なジャンピングボードとなると考えます。“中だるみ”と称される時間を持つことができることは、中高一貫教育のメリットであると考えられます。

Q. デメリットはありませんか。

A. 先述の“中だるみ”が、単なる“気の緩み”として終わってしまうのだとすれば、それはデメリットとされると思います。“中だるみ”の真っ只中においては、イライラを募らせてそれを周囲にぶつけたり、学習において集中力がもたなかったりということが起こりがちです。それがデメリットと評価される所以だと思いますが、むしろそれは、本当に大事な時期を迎えているというサインであるわけですから、生徒自身の学びへの意志を尊重しつつ、その悩みに正面から向き合う彼らに寄り添い適切に支援することで、共にメリットに変換していきたいと考えています。

Q. 学年、クラスの編成はどうなっていますか。

A. 中学は1クラス40名程度で各学年6クラス、高校は1クラス48名程度で各学年5クラスとなっています。高校においては、選択科目の関係で各クラスの人数が多少増減することがあります。

Q. クラス替えはありますか。また、習熟度によるクラス編成は行っていますか。

A. クラス替えは毎年行います。選択科目などの都合上、編成し直すという意味合いもあるのですが、せっかく学びへの高い意志をもって本校に集った生徒諸君ですから、できる限り多様な個性との出会いのチャンスを設定し、良い刺激を与え合ってほしいと思っています。ですから、いわゆる“成績”の順にしたがって一義的にクラス分けを行うことはしていません。互いの得意分野を認め合い、生徒同士が教えたり教わったりしながら、学びの水準を高めていく雰囲気を作っていくことができるよう、学年や教科が連携をとって日々工夫を重ねています。

Q. 学習成績に順位はつきますか。

A. 本校では年間5回の定期試験を行って学習成績をつけますが、試験の得点にレポートや小テスト等による平常点、あるいは実技点等を加味して算定する絶対評価です。学年全体の成績分布を示して、自分の状況を客観視するヒントとしてもらいますが、個人個人の順位や偏差値は出していません。これは、自分がどのような取り組みをしてどのような成果が得られたのかを、しっかり対象化して、自分の適性や、短期的または長期的に取り組むべきことを、見つけていくことこそが学びであると考えからです。大学受験に向けても、この授業や定期試験への取り組みに対する自己評価が、有効な判断基準となります。年1回(中学1・2年)から年3回(高校3年)行われる校内実力試験(校内模試)では、総合成績と科目別成績に順位を付けて各自に示しますが、これは、自分の学習状況を振り返るための一つの指標として有効活用するのが目的であり、学年成績には加味していません。

Q. いわゆる落第はありますか。

A. あり得ます。学習状況と出欠状況についての本校の基準に基づいて、進級について検討・審議します。その際は、基準を満たすかどうかを機械的に判定するのではなく、一人一人の生徒がより伸び伸びと学ぶためにはどのような環境が相応しいかを、生徒本人や保護者と話し合いを重ねて、慎重に判断します。事情によっては、同じ学年をもう一度やり直そうという判断に至ることもあり得ますが、その場合も含めて、この先、生徒本人がより前向きに取り組んでいけるかどうかを最優先に考えて、結論を導き出していきます。



## 〔学習方針〕

Q. 6年間の学習はどう進んでいきますか。

A. 中高一貫校のメリットを活かして、6年間の学習内容を有機的・系統的に効率よく編成しています。中学1年から高校2年までは、社会・理科などで科目選択があるものの、すべての生徒に文理に偏ることのない授業を実施しています。高校3年では、自分の進路、志望大学に合わせた学習を集中的に行うこととなります。このように6年間を広く見渡して、どのように授業を進めていけば生徒たちの理解力が高まり、実力が身につくかということを第一に考え、適宜カリキュラムに検討を加えています。

Q. 理数系の科目に特に力を入れていると聞きましたか。

A. 本校には算数や理科の好きな生徒が大勢入学してきます。それに応えるためにも、数学や理科の授業には力を入れています。数学Bという科目で、中学2年では40名の生徒に対し教員2名がついての指導、中学3年、高校1・2年の3学年では1クラスを2つに分けた分割授業にしています。また中学1・2年の理科実験も、毎週1時間、分割授業を行っています。教員の指導が生徒一人一人に行き届く環境下で実験を行い、毎時間必ずその成果をレポートやワークシートにまとめて提出します。もちろん、理数系の科目ばかりではなく、国語や社会、英語もカリキュラムに工夫をし、授業に対する高い評価を頂いています。高校1年の公共では、1クラスに2名の教員がついて、ディベート、ディスカッション、発表の授業を丁寧に行っています。このように様々な教科で発信型の授業に取り組み、新時代を築くにふさわしいバランスのとれた教養を身につけさせたいと考えています。

Q. 数学・理科実験以外に、分割授業は行っていますか。

A. 中学1・2年の週4時間の英語および週1時間のOC（外国人講師による英会話）は、全て分割授業（20名）で行っています。また、高校1・2年の英語でも、週1時間、外国人講師によるOCの分割授業を実施しています。中学1・2年の技術では、1クラスを「ものづくり」と「コンピュータ」の分野に分け、それぞれを半年交替で20名の分割授業を行っています。その他中学2・3年の武道では柔道か剣道を選択し、1クラスを2分して実施、高校1～3年の体育（週3時間のうちの1時間）では2種目から選択して履修します。また中学3年、高校1年の芸術では音楽・美術・書道の中から1科目を選択して少人数で学習します。高校1年の家庭科は、

クラスを2分して調理実習と裁縫実習を行い、高校3年の英語C（英作文）は、1クラス20名程度の少数で毎時間添削指導をしています。

Q. 英語の授業はどのような内容ですか。

A. 英語の授業では、生徒が将来英語を使い、自分の意見を発信していくことのできる能力を養成することを目標としています。中学では、基礎となる文法事項をしっかり理解した後、英文の暗唱を徹底指導し、インプットとアウトプットを繰り返すことで、基本的な英文の定着を図ります。高校では、大学受験を視野に入れ、オリジナル教材を使用した授業を展開しながら、「読む、聴く、書く、話す」の4技能を念頭に置いた、バランスのとれた英語力の向上を目指しています。なお、令和3年度（2021）より、中学1・2年、高校1・2年に行われるネイティブスピーカーとの分割授業に加え、中学3年で、CALL 教室を利用したオンライン英会話の授業も実施しています。（英語の授業内実施）

Q. 習熟度別の授業は行っていますか。

A. 学習状況によって、中学3年の数学Bで実施することがあります。

Q. 授業の進度は速いのでしょうか。

A. 特に中学1・2年のいくつかの科目で進度が速く感じられるかもしれませんが、公立より授業時間数が多く設定されていますので、公立より速く進むのはある意味で当然なことです。授業を大切にし、日々の予習復習を丁寧に行っていれば十分ついていけるはずで

Q. 宿題は多いのでしょうか。

A. 各教科で必要に応じて宿題を出しています。また、小テストや発表等の課題のため、自宅での学習や予習が求められる教科もあります。1日約2時間の家庭学習を怠らず、生活の中に学習習慣を確立することが大切です。

Q. 学習面でふるわない生徒に対する補習授業はありますか。

A. 理解の遅い生徒だけを集めた補習授業は実施していません。本校は専任教員が多いため、理解度やクラブ活動など生徒一人一人の状況を把握した上で、教科担当者を中心として、授業後も個別に丁寧に指導をしています。ただし中学では、1学期の成績のふるわなかった生徒に対して夏休みに指名制で無料の夏期講習を行います。なお、令和4年度から中学生希望者を対象として、駒場東邦卒業生が講師となり、教員と連携しながら、基礎学力の定着をはかる



放課後学習サポートシステム（通称駒サポ）の運営がスタートしました。（別途費用がかかります。）

Q. 授業についていくため、また将来の大学受験のために塾や予備校に通う必要はありますか。

A. 塾や予備校に通わず、本校のカリキュラムを着実にこなすことだけで十分な学力を身につけ、大学受験に対応することができます。毎日の授業の予習、復習、クラブ活動、家族との時間を考え併せれば、そのための時間を確保することは容易ではありません。いたずらに、やらなければならない課題を増やすことは得策とは考えられません。教員は放課後においても時間の許す限り生徒の質問や相談に応じますし、生徒の学習状況をよく知る教員との学習をより充実させることが最善の学習方法と言えるはずで

#### 〔進路指導〕

Q. 今年度から施行された新学習指導要領やそれに対応して令和7年度（2025）実施される大学入学共通テストへの対応はどうなっていますか。

A. 科目構成が大きく変わる地理歴史、公民、数学、新たに出題教科となる情報についても、従来、本校で行ってきた教育内容で十分に対応できると考えています。

Q. 東邦大学への推薦入学の制度はありますか。

A. 東邦大学には医学部・薬学部・理学部・看護学部・健康科学部の5学部があります。医学部を希望し、一定の基準を満たしている生徒は、学校長の推薦をうけて、推薦入試の出願をすることができます。

Q. 進路指導はどのように行われていますか。

A. 本校では中学高校の6年間にわたる総合学習のテーマとして職業・進路・進学を位置づけてキャリア教育を心がけています。この6年間の成長段階に沿って進路ガイダンスや各業界の卒業生による講演会を企画し、随時クラス担任などによる個別指導も行っています。進学資料室には進路や進学に関する書籍や資料が揃い、本校の半世紀におよぶ進学実績が蓄積されています。狭い意味での進学指導ではなく、将来の職業や生き方まで見据えた進路指導を心掛けています。

Q. 文系、理系の志望者にそれぞれどのような指導をしていますか。

A. 高校2年次の2学期に生徒の志望と保護者の了解にもとづき文理の志望を明確にし、高校3年次に文理志望別のクラス編成を行います。文系2クラス、理系3クラスに分かれることが多いですが、年によ

って文理混合クラスができることがあります。最近では理系のうち40名程度が医学部への進学を志望しています。

文系と理系とでは選択科目や時間数が異なりますのでクラスごとの時間割編成に違いがありますが、国公立大学志望者が大半なので指導目標は変わりませんし、教材もほとんど同一のものを使用しています。志望に合わせて、小論文対策講座、リスニング・ライティングなどの講座や論述問題、共通テストに焦点を合わせた授業もその時期に応じて実施しています。現役での大学進学率は6割程度ですが、その背景には私立大学に合格しても、第一志望の国立大学に入るために、一浪くらいはかまわないと考えている生徒が多くいるということが挙げられます。

#### 〔生活指導〕

Q. 駒場東邦は自由な学校とよく聞きますが、校則は厳しくないのですか。

A. 学校生活における最低限のルールとしての校則はもちろんあります。しかし、13歳から18歳という年齢の幅は、心身の成長において大きな相違があり、一律の指導では必ずしも生徒を納得させることができませぬ。個々の成長段階に見合った肌理の細かい指導が要求されるところです。決して生徒に迎合することなく、駒場東邦の生徒としての自覚をもち、自主・自律の精神と他者への思いやりの気持ちをもった品格ある生徒を育成すべく努めています。

Q. 通学時間の制限はありますか。

A. 1年を通して8時25分までに登校できるのであれば問題はありませぬ。通学時間の平均は約1時間、中には1時間半以上かけて通学している生徒もいます。

Q. 中学生でも校内の食堂を利用できますか。

A. 昼食はお弁当を推奨しますが、食堂利用や売店での飲み物、パン類の購入も可能です。

Q. いじめはありますか。また、どのような対処をしていますか。

A. 様々な生徒が大勢で生活していますので、小さなもめごとが嫌がらせやいじめに発展してしまうこともないわけではありませぬ。その兆候が少しでも見られた場合には、クラス担任と学年団の教員が協力して生徒とよく話し合い、必要があれば保護者とも連絡をとって解決に努めます。また、無記名のいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見に努めています。日頃より、相手の人格を傷つける行為は決して許されるものではないという指導を行っています。



Q. 不登校の生徒はいますか。また、どのような対処をしていますか。

A. 不登校の原因は様々ですが、本校でもいくつかの例があります。クラス担任が生徒本人だけでなく保護者と連絡をとって、一人一人の状況に応じて丁寧に対処しています。また、状況により養護教員、スクールカウンセラー、メンタルケア専門の校医が相談に応じる準備もあります。

Q. 学校が渋谷などの繁華街に近く、少し心配なのですが。

A. クラブ活動などで下校時刻が遅くなるときには、友だちと連れだって、寄り道をせずまっすぐ帰路につくよう指導しています。部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多いので、時間的にも渋谷に寄って帰る生徒はほとんど見受けられません。

#### 〔年間行事〕

Q. 体育祭を見て、迫力に驚きました。体が小さくて体力に自信のない子供でも大丈夫でしょうか。

A. 体育祭は生徒と教員が十分に話し合ったうえで企画・運営され、高校3年生が中心となって下級生を丁寧に指導します。運動の苦手な生徒もいますので、そういう生徒も楽しく参加できるような指導をしています。体を動かす行事の多い学校ではありますが、生徒全員が自分の能力に応じて役割を担い、運動が苦手でも活躍することのできる場所があるので、心配はいりません。

令和4年度は新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、昨年度同様、無観客で実施しました。

Q. 文化祭も大変賑わっていると聞きますが、文化祭の特色はなんですか。

A. 文化系のクラブ・同好会による展示・公演が中心ですが、クラスや学年、有志による参加団体もあります。体育系のクラブも招待試合を行ったりして生徒全員の参加を目指しています。この行事は高校2年生を中心とした文化祭実行委員の生徒が行事全体の企画・立案をし、その上で責任を担い、教員と十分話し合いながら運営に当たっています。令和4年度は前年度同様、感染症対策を講じ、事前予約制の入場制限を採用するとともに、オンラインコンテンツの充実化も図られました。

Q. 宿泊をともなう校外での学習活動には、どのような行事がありますか。

A. 夏休みに入った7月下旬に中学1年が霧ヶ峰林間学校を、2年が志賀高原林間学校を、2学期の9月末に3年が奈良・京都研究旅行を実施しています。これらの校外学習はいずれも各学年の総合学習とし

て位置づけており、綿密な事前学習から事後のレポート・作品作成まで時間をかけて指導しています。高校2年の9月に実施される修学旅行は、生徒たちが行き先の案を出し合い、目的に沿った計画を立てるなど、生徒の自主性を尊重して学年ごとに決めています。また12月に中学2・3年の希望者を対象にした冬季スポーツ体験教室を、志賀高原で実施し、グレンデスキーのほかにスノーハイキング、雪洞づくりなどを体験するとともに、自然環境問題についても学習します。

令和4年度は3年ぶりに、霧ヶ峰林間学校を2泊3日で3クラスずつ日程をずらして実施、志賀高原林間学校も2泊3日で3クラスずつ分宿してそれぞれ実施しました。また研究旅行、修学旅行も感染症対策を講じて3泊、4泊の日程で実施しました。

Q. 国際交流の機会はありますか。

A. 本校では交換留学生基金が設けられ、この基金を利用してアメリカの私立スティヴンソン校との間で、約1カ月半の交換留学を実施しています。平成24年度(2012)には交換留学30周年の記念行事が行われ、台湾の名門校、国立臺南(国立台南)第一高級中學(中学)との間でも交換留学が始まりました。主に高校1・2年生を対象に内部選考会を行い、各1~2名が選抜されます。現地でホームステイをし、替わりにパートナーを連れて帰ることになります。校内では留学生サポーターを組織したり、留学の報告会を実施したりするなどして、なるべく多くの生徒が経験を共有できるようにしています。また、令和元年度(2020)には、本校のOB会組織である全米邦友会の協力のもと、高校1年生4名を対象に「ニューヨーク短期研修プログラム」を実施しました。このプログラムでは、ニューヨークに4泊6日で滞在し、実際に様々な分野で活躍するOBへの職場訪問を中心にしながら、現地の方々へのインタビューやディスカッションを実施し、今後とも、単なる語学研修ではない、駒場東邦ならではの国際交流の機会を模索していきたいと考えています。令和2年度(2019)来のコロナ禍に於いては、直接の往来ができない中、オンラインで双方の活動に参加する試みがなされています。

#### 〔生徒会活動〕

Q. クラブ活動はさかんですか。

A. 多くのクラブは週に2日~5日の練習、活動を行っています。クラブ活動への参加は決して強制ではありませんが、中学1年生のほぼ7割が体育部へ入部し、約5割が文化部へ入部し、同好会も含めほぼ全員が何らかのクラブに入っています。1人で複数のクラブを掛けもちしている生徒もいます。中学



1年生は5月末まで仮入部での参加が認められています。また多くのクラブは夏休みに校外で宿泊合宿を実施し、さらに春休みにも実施するクラブがあります。なお、令和4年度の夏休みは3年ぶり、感染症対策を講じたうえで、原則2泊3日までの宿泊合宿が許可され、多くのクラブが実施しました。

Q. クラブでは、中学生と高校生とが、一緒に活動しているのでしょうか。

A. 多くのクラブは中学・高校が一体となって活動し、顧問の教員による指導・見守りの中で高校生が中学生の指導をすることが多く、先輩と後輩の絆や友情が生まれます。

Q. クラブ活動と勉強との両立は可能でしょうか。

A. 自分の学習スケジュールや体力にあわせて適切な部活動を行うことは、心身に適度な緊張感や刺激を与え、生活のリズムや集中力を生みだします。部活動に熱中していても、授業を疎かにすることなく、自覚と意志をもって生活を切り替え、勉強にも力を注ぐことで着実に学力を培うことができます。そして多くの生徒は高校2年の10月か11月頃までにクラブを引退し、学習に時間を割くようになります。本格的に受験勉強に取り組むのは部活動を引退してからですが、引退後の勉強に対する集中力には目をみはるものがあります。概して部活動を熱心に行っていた生徒の方が、集中力があるように思われます。

#### 〔PTA 活動〕

Q. PTA 活動が盛んな学校と聞きますが。

A. 毎年各クラスから4~5名のPTA役員を選出し、保護者を代表しての学校活動全般の見守りとご支援、そしてクラス、学年、学校の諸行事への協力をお願いしています。またPTA活動の一環として、会誌の発行、サークルの運営、講演会の企画なども行っています。これらの活動は、仕事や家事の合間の無理のない範囲でお願いしています。

Q. 保護者会は1年に何回ありますか。

A. PTA 総会が1回、学年主催の保護者会が、1学期に2回、2学期以降に1~2回あります。2学期の1回はクラス担任との個人面談となります。その他クラブの保護者会やクラス懇親会が、年に1~2回行われています。

#### 〔中学入学試験〕

Q. 駒場東邦は、どのような生徒に入学してほしいですか。

A. 駒場東邦で学び、成長することを願い、友人たちと協力しながら、努力をたゆまず続けることのでき

る生徒を望んでいます。その結果として、生徒諸君が、科学的合理精神を身につけ、社会のために貢献できるような人間になることを望んでいますが、勿論、中学・高等学校段階の教育で、十分にこれを実現することはできません。さらに高度な教育の場に身を置き、学び続けることが必要です。従って、募集要項の中にもあるように、大学への進学を目指し、在学中不断に勉強を続けられる生徒が理想と言えるかもしれません。勉強に限らず、何か一つでも好きなものにこだわりを持ち、好奇心に輝いているような生徒たちに入ってきてほしいと思います。

Q. 入試ではどのような力が特に要求されるのでしょうか。

A. 原則として小学校で学習する内容・分野から出題しますので、まず基本的事項についての十分な理解と応用力が求められます。単なる知識の量や解法だけを問うことが目的ではありませんから、小学校で学習、体験する内容をもとに自分で工夫して考える力が身につけているかどうかをはかる問題も含まれます。平成17年度(2005)入試より4教科とも試験時間を10分間ずつ長くしました(国語60分・社会40分・算数60分・理科40分)。問題の質や量は従来と大きく変えることなく、特に記述問題においてより充実した答案を書いてもらうことが狙いです。

Q. 科目によって基準点や足切りはありますか。

A. ありません。4教科の総合点(国語120点・社会80点・算数120点・理科80点)の400点満点で判断します。

Q. 国語で記述式解答を求めたり、算数で途中の考え方を書かせたりしたときには、中間点をあたえているのでしょうか。

A. 配点や採点基準について詳細は公表していません。しかし、答えだけ合えばそれでよいと考えるのではなく、途中の考え方を含め、求められていることにはきちんと解答してほしいと考えています。その努力のあとが見られる答案については相応の評価をしています。

Q. 漢字で書くことが求められていない場合、ひらがなで答えてもよいでしょうか。

A. 小学校教育の学習範囲内で書くことが原則ですが、日常生活でよく見聞きする物事については社会常識として身につけておくことが望まれます。

Q. 繰り上げ合格はありますか。

A. 入学予定者招集日以降に欠員が生じた場合には、



繰り上げ合格者にその旨を電話で連絡します。また繰り上げ合格者であっても入学時納入金などすべてにおいて、正規格格者と同一の扱いとなります。

## 〔その他〕

Q. 校舎等施設にはどのような特色がありますか。

A. 校舎は中学棟、高校棟、体育館棟、管理棟の4ブロックからなっています。それらは廊下ですべてつながって口の字形になっており、中学生と高校生との交流のためにも機能的に設計されています。

中学6クラス、高校5クラスが、それぞれ1フロアに並んで、各クラス間の交流がスムーズにいくように配置されています。

Q. どのような施設がありますか。

A. 中学・高校の教育活動に必要な施設はすべて整っていると考えています。例を挙げれば、グラウンド(人工芝)・体育館・講堂(約300名収容)・食堂・図書室(令和4年3月現在、蔵書76,429冊)・柔道場・剣道場・室内温水プール(25m、7コース)・理科実験室(9室)・コンピュータ教室・CALL教室・分割教室(6教室)・大教室(2教室)・カウンセリングルーム・トレーニングルームなどがあります。

Q. 保護者の転勤等にもない転出した場合、戻ってきたときの復学の制度はありますか。

A. 将来の復学を前提として退学することになります。高校2年次より前に、時期に応じて1~2年以内に復学するようお願いしています。復学時には復学編入試験と面接を実施し、その結果によってはひとつ下の学年に復学することもあります。

Q. 学費はどのくらいかかりますか。

A. 令和4年度実績は8ページのとおりです。初年度納入金は令和4年度では入学金、授業料、設備維持費、後援会費など1,056,000円でした。そのほか教材費や制服代などの諸費用を含めると、およそ120万円でした。次年度からは総額でおよそ85万円です。なお、本校高校へ進学する際の入学金は15万円でした。

Q. 授業料とは別に後援会費が毎年234,000円かかるということですが、これはどういう目的をもったものですか。

A. 後援会は、PTAを主体に、同窓会組織である邦友会、卒業生の保護者が組織する菊友会の3団体からなり、校舎の建築・改修や記念行事など本校独自の事業に財政的な支援をするために、本校創立後間もない頃に、保護者の皆様により設立された組織です。

本校は学校法人東邦大学の傘下にありますので、学納金は基本的に法人に入りますが、後援会費は直接後援会に入ります。

Q. AFSなどの私的な留学はどうなっていますか。

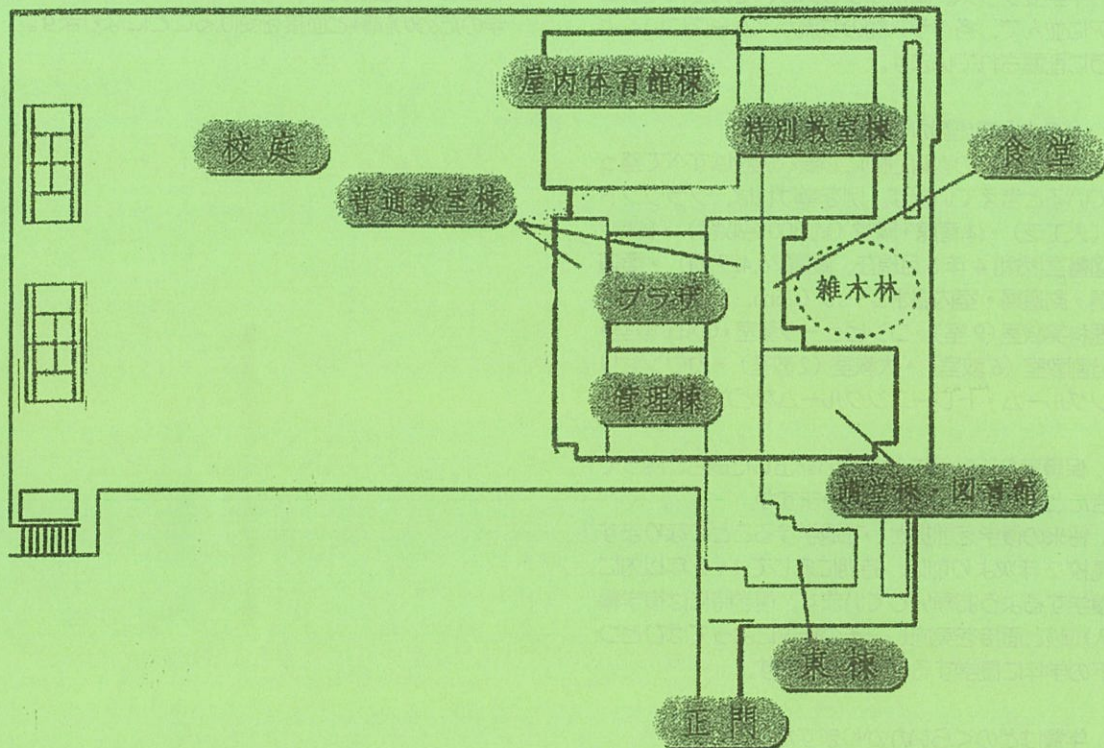
A. 私的留学は高校生のみに認めています。私的留学期間は1年間とし、復学を前提として退学することになります。

ただし復学の時期は高校3年次の2学期初日までとします。生徒がもともと所属していた学年に復学を希望する場合は、本学在学時の成績上の問題がないことや、留学先の成績証明などが必要になり、復学のための試験と面接を受けることとなります。



〔本校の施設〕

校地	20,706.36㎡ (6,263.7坪)
施設	普通教室 (33) ・分割教室 (6) ・理科実験室 (9) ・大教室 (2) ・ゼミ室・社会科教室 ・コンピュータ教室・CALL 教室・美術室・音楽室・技術教室・家庭科教室・芸術教室・図書室・ 講堂・体育館・トレーニングルーム・室内プール・柔道場・剣道場・食堂・校長室・職員室・保健室・ 事務室・会議室 (2) ・応接室・面談室 (3) ・教育相談室・カウンセリングルーム・進学資料室・ 資料室・研究室 (10) ・放送室・用務員室 など



〔参考〕学納金等について (令和4年度実績)

		納入時期	
学 費	● 入 学 金	300,000円	入学手続時
	● 授 業 料	年額 480,000円	4 期 分 納
	● 施設維持費	年額 24,000円	4 期 分 納
そ の 他	● 後援会費	年額 234,000円	4 期 分 納
	● 生徒会費 (含入会金)	年額 8,000円	入 学 後
	● PTA 会費 (含入会金)	年額 10,000円	入 学 後
寄 付 金	● 教育充実寄付金 (任意) (入学年度のみ後援会に対して)	300,000円 以上	4 月 中 旬

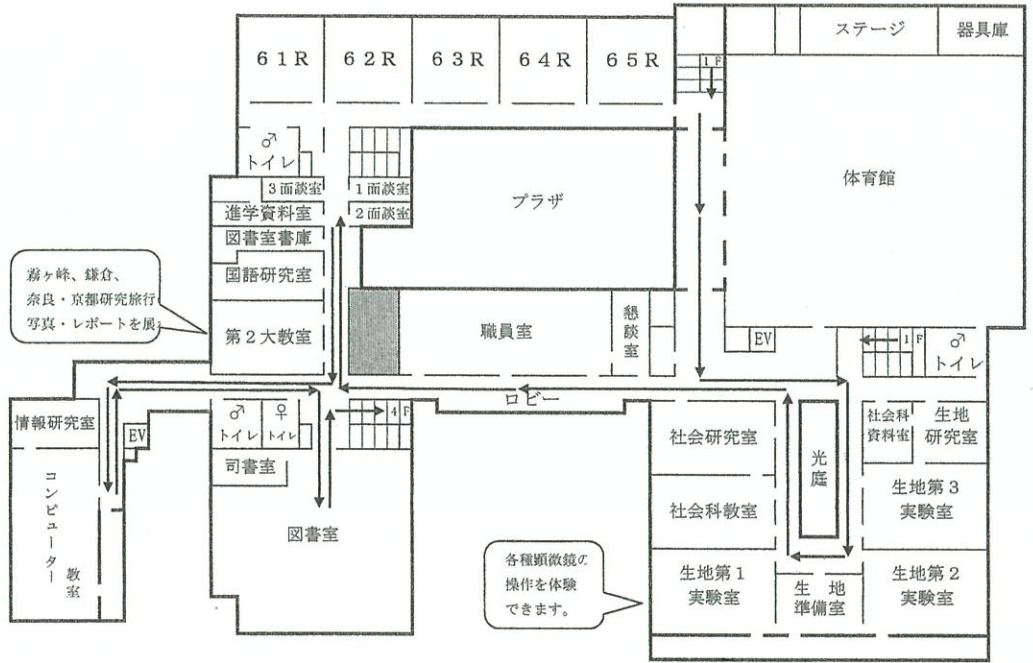
※ 中学より高校へ内部進学の際は所定の入学金を納入していただきます。(参考: 令和4年度は15万円)



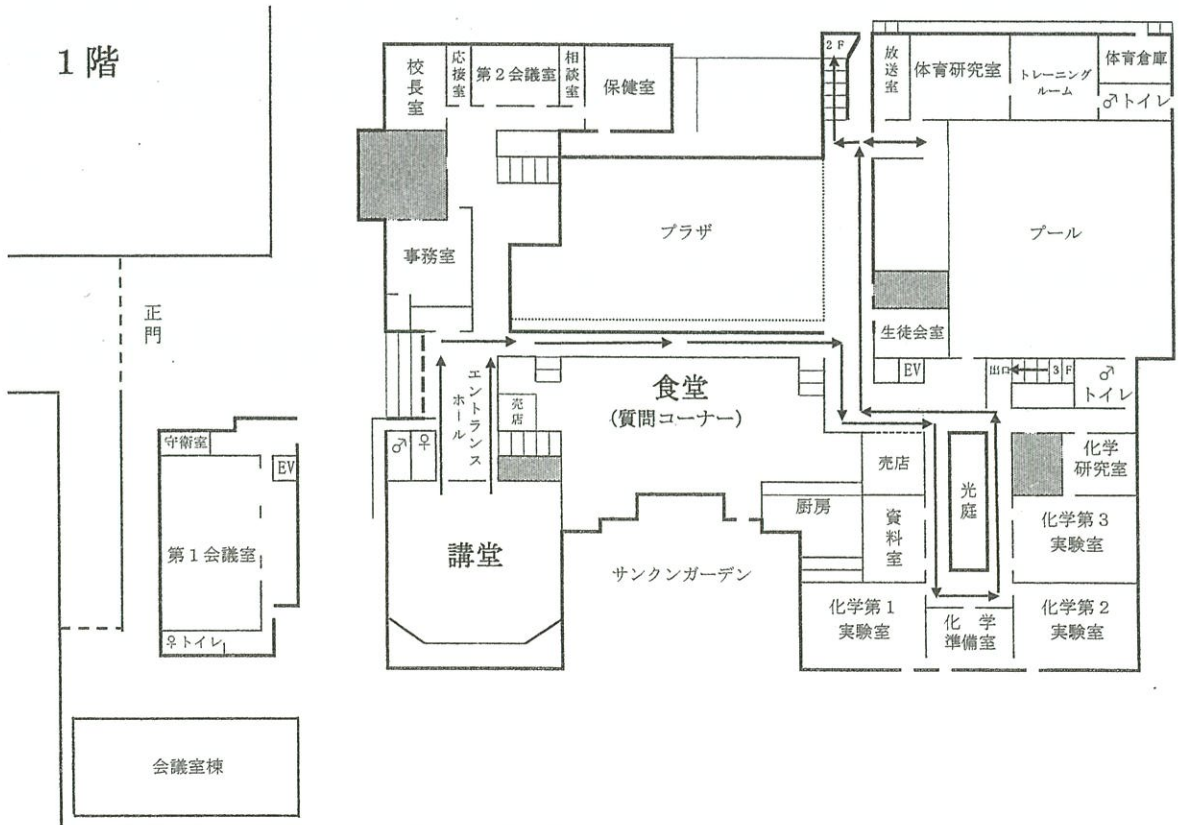


駒場東邦中学校・高等学校  
校舎平面図  
(見学順路)

2階

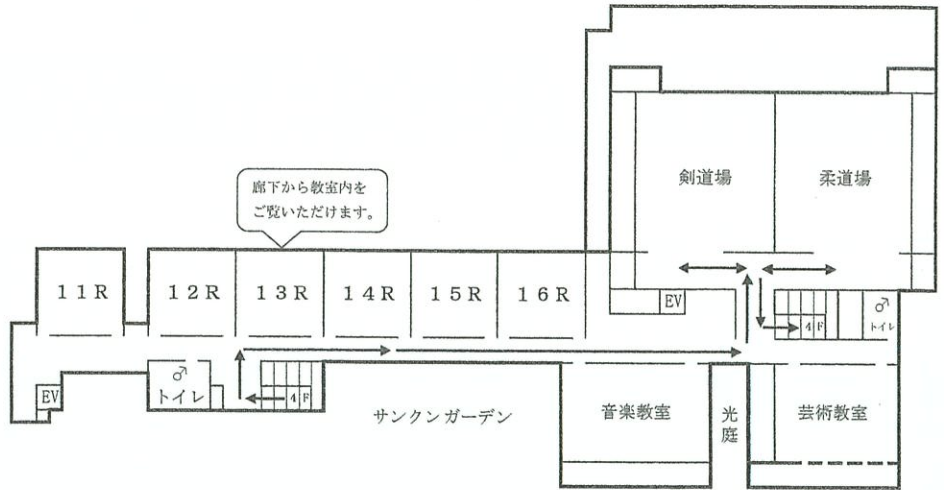


1階

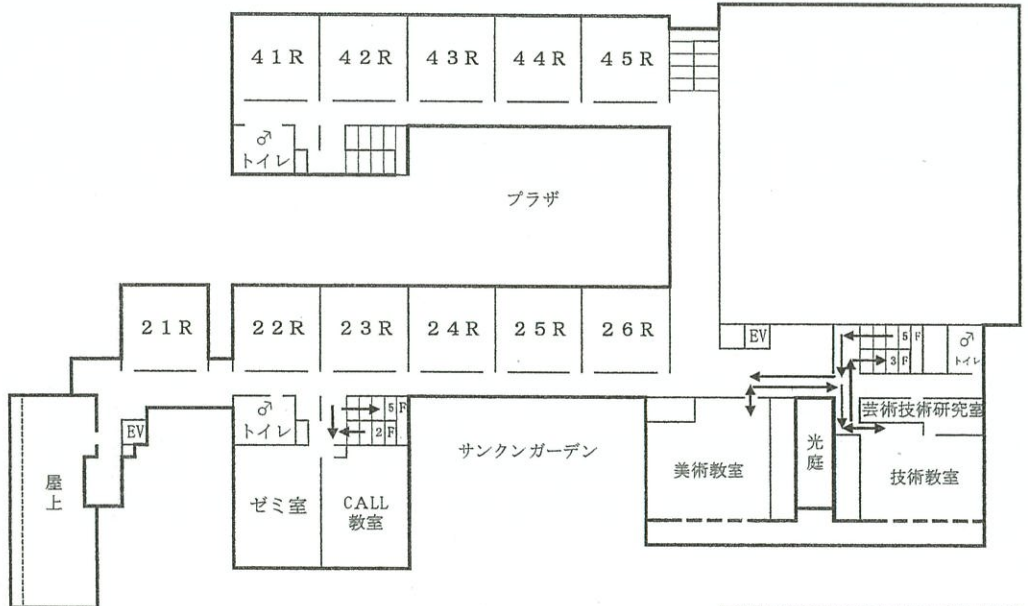




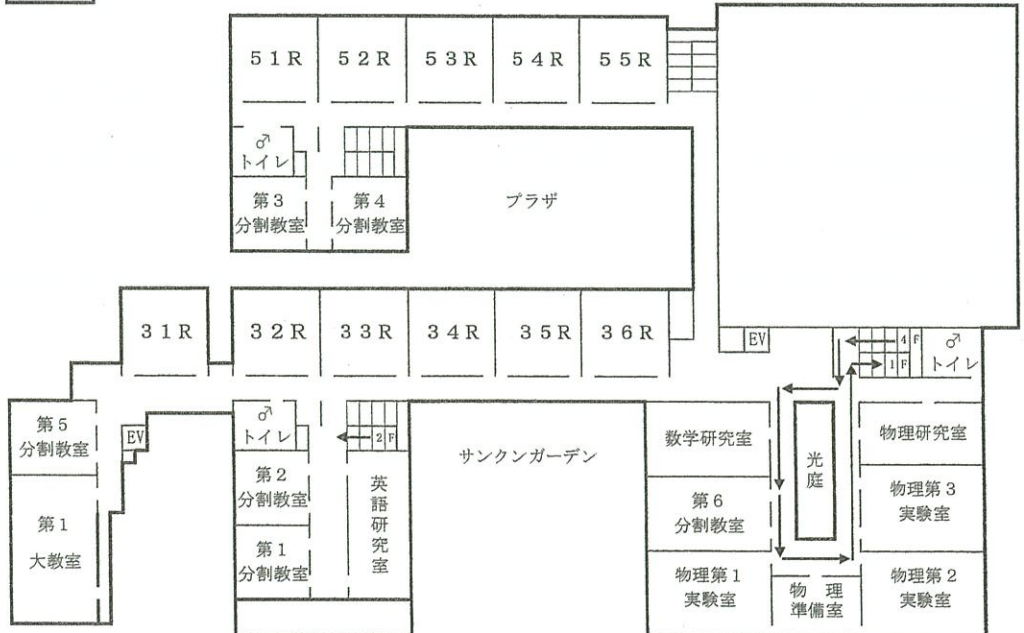
5階



4階



3階





## 学校説明会 施設見学に関するお願い

本日は、学校説明会にご参加いただきまして、ありがとうございました。

説明会后、校舎内を地図の矢印に沿って、ご見学いただけます。

ご見学について、お願いがございます。

・本日は、いくつかのクラブが活動を行っております。

不特定の人との接触を避けるため、廊下を歩いて見学をお願いいたします。教室の中など生徒の活動場所には、決して立ち入らないようお願いいたします。

また、生徒にもマスクを着用するように指導しておりますが、見学の際に、マスクの着用をお願いいたします。

・校舎内の滞在時間は、恐れ入りますが、30分程度で、密にならないように、ご配慮ください。


・共用部分は、適宜、消毒を行っておりますが、階段の手すりや備品などに、お手を触れないようにご注意ください。

新型コロナウイルスの感染防止に協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

食堂での「質問コーナー」も、どうぞ、ご利用ください。相談員が対応させていただきます。

また、各階に案内・説明のために教員がおりますので、お聞きになりたいことがございましたらお気軽にお尋ねください。





# Around Our School

学校周辺マップ

東京都世田谷区池尻4丁目、歴史と文化が息づく駒場の地に位置する駒場東邦のキャンパス。  
ここは、街全体が学びのフィールド。文化と学問の香り漂う学びの場。  
生徒ならではの視点から見た駒場の街をご紹介します。

駒場東邦中学校・高等学校

[www.komabejh.toho-u.ac.jp](http://www.komabejh.toho-u.ac.jp)



# 学校周辺マップ

## 先端科学技術センター

文理の垣根を越えた最先端研究の拠点です。駒東ではキャリア教育の一環として、卒業生による講演会や施設訪問を実施しています。

## 都立国際高校

駒東大前を最寄りとする都立高です。この学校は帰国子女の生徒が多くいるため、名前の通り国際色豊かな特徴です。

## 国際交流について

駒東では毎年、高校1年生の代表3名が海外の以下の2校と交換留学を行い、広い視野と国際感覚を養います。今年度はコロナウイルスの影響で実際に現地へ赴くことはできませんでしたが、オンラインでの交流企画を行いました。

### スティーヴンソン校

カリフォルニア州モントレーにある名門私立高校です。本校とは1982年から30年以上交換留学を実施しています。自然豊かな美しいキャンパスで17州と23カ国から集まった生徒が世界で活躍するための文化的能力を学んでいます。

### 国立台南第一高級中学

台湾で急速に成長している都市の1つである、南部の都市台南にある名門国立高校です。本校とは2012年から交換留学を実施しています。台湾に9つしかないサイエンスクラスの1つを持ち、科学教育に力を入れているのが特徴です。

高校2年生の修学旅行は、行き先を生徒のプレゼンで決定します。海外修学旅行では、現地の大学生、高校生、孤児院の子供たちなど、さまざまな方との交流を実施しています。

## 駒場野公園

駒東から徒歩5分ほどに位置する大きめの公園です。自然が豊かで春には桜も満開になるので地域の子供達の憩いの場として賑わっています。駒東生は中1のオリエンテーションでピクニックに行くこともあります。

先端科学技術研究センター

一言堂

都立国際高校

駒場野公園

駒場野公園

## 筑駒

駒東の隣に位置する進学校です。文化祭では囲碁部などが交流試合をしています。過去には駒東と合同スポーツ大会を実施したこともあります。

池尻大橋側の通学路には目黒川が通っています。緑がとても豊かで、春には桜が咲きます。目黒川以外にも通学路には自然が多くあります。

筑波大学附属駒場中学校・高等学校

交差点

## 東邦大学医療センター

大橋病院は駒東の系列大学である東邦大学が運営する病院です。この病院は約3年前に移転作業が行われ現在の位置に作られました。池尻大橋駅を最寄りとする駒東生は病院の構内を通過して通学できるようになったので歩く時間が大幅に減りました。

東邦大学  
DENTYOSHI LINE



## 東京大学

駒場大前駅の北口を出ると目の前に東京大学駒場キャンパス正門が見えます。駒東の生徒の多くが目指す東京大学ですが実は一番身近なところにあります。



## 吉田 健祐

学校周辺にもたくさんの駒東生との“with”が見られます。駒東は近隣の施設とも繋がりがあり、愛隣会へのボランティア活動、東邦系列の大橋病院への職業体験、東京大学先端研への見学など、少し学校の外に出るだけで数多くの体験ができます。早くパンデミックが収まって、このような校外活動が再開されることを願っています。

ところで、学校に来るときに池尻大橋、駒場大前からの坂が辛いと感じた人はいませんか？心配無用です。駒東生活が長くなると運調ギリギリでの坂のダッシュにも耐えられるような体力がつかめます！

東京大学

駒場大前

日本工業大学  
駒場高等学校

## 愛隣会

駒東に隣接する高齢者、障害者支援施設。児童施設などを含む総合型社会福祉施設です。着も業掃除など、様々な企画を通して駒東生も施設利用者の方と定期的な交流する機会があります。

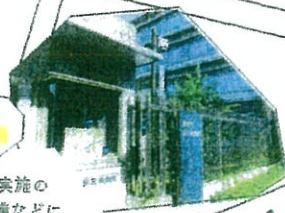
AWASHIMA STREET

駒場高等学校

区立第一中学校

## 第三機動隊

駒東に隣接する警察の警備実施の中核として治安警備、災害警備などにあたる専門の組織です。駒東からも機動隊の遠方にある訓練の音がよく聞こえます。



METROPOLITAN EXPRESSWAY 7

## 大橋図書館

池尻大橋駅の近くにある大型図書館です。駒東からも近いので資料が必要な時などに駒東生も利用しています。また試験前になると、集中した環境で勉強ができるので試験勉強をする生徒も見られます。

池尻大橋

## オーパス夢広場

目黒天空公園の中にある人工芝でできたフットサルコートです。勉強の息抜きがてら、駒東生も午前授業の日や校内体育大会の前にサッカーなどをしています。



編集 佐藤希一  
原稿 尾崎啓雅  
イラスト 松田佐都矢



# 駒場東邦のイベントに参加しよう！

学校説明会

10/16(日)22(土)23(日)

\*予約制となります。詳細は学校ホームページをご覧ください

文化祭

9/17(土)18(日)

\*予約制となります。詳細は学校ホームページをご覧ください。

## 中野漢太

「学習」と言われて何を思い浮かべますでしょうか。机に 本や教科を置いてペンを動かすことでしょうか。駒東には、もちろんその環境は整っています。しかし、駒東で学ぶことが出来るのはそれだけではありません。学校内の施設はもろもろのこと、様々な経験したように学校周辺の環境も充実しており、駒東にしかない学びや中高の年間で得ることが出来ると思います。皆さんと共に学ぶことが出来る日を楽しみにしています。

## 中嶋隆太郎

駒場東邦では「生徒主体」を掲げるように、様々な行事などにおいて生徒自身が主体性を持って活動することにより、自ら考え行動する力を中高生の間に身に付けることもできます。また、文化部のみならず体育部も良い成績を収めているなど、部活動がとても盛んな学校です。昨年には校庭が人工芝に改修され現在では校舎の内装が改装中であるなど、付帯性がどんどん増えています！ぜひ、「新しい駒東」になるしてください！

駒場東邦でお待ちしています！



駒場東邦中学校・高等学校

〒154-0001 東京都世田谷区池尻4-5-1  
TEL 03-3466-8221 FAX 03-3466-8225  
<https://www.komabajh.toho-u.ac.jp>





# 2022年10月実施 学校説明会アンケート

駒場東邦中学校高等学校

本日はお忙しい中、本校の学校説明会にお越し頂き、ありがとうございました。今後の参考のために、以下の質問にお答え下さいますよう、お願い申し上げます。お帰りになるときに、玄関の回収箱にお入れ下さい。

◆参加された回を○で囲んで下さい。

(10/16(日)) 1・2・3 (10/22(土)) 4・5・6 (10/23(日)) 7・8・9

1. お子様は小学何年生ですか。 6・5・4・3年生 他( )
2. 本日の学校説明会は何によってお知りになりましたか。  
a: 学校の先生 b: 本校のホームページ c: 雑誌 d: 知人 e: 親戚 f: 塾  
g: その他( )
3. 本校の学校説明会に今まで参加されたことがありますか。  
a: 今日がはじめて b: 昨年(それ以前)も参加した 【 回目】  
c: 塾主催の説明会に参加した (どちらの塾の説明会でしたか → )
4. 本校の文化祭にいらっしゃったことがありますか。  
a: 来たことがある 【 】回 b: 来たことがない
5. 本日の説明会の印象は全体としていかがでしたか。  
a: とてもよかった b: よかった c: 普通 d: やや不十分 e: 不十分
6. 学校説明会開催の時期について、ご意見をお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。  
a: 本年度と同様 10月でよい b: 2月下旬から3月上旬まで c: 6月 d: 8月  
e: その他(理由も挙げていただけると助かります。( 月頃 理由: )
7. 駒場東邦のどこに魅力を感じていらっしゃいますか。魅力を感じる場所がありましたら、お書きください。  
-----
8. 駒場東邦について、もっと知りたいことがありましたら、お書きください。今後の参考にさせていただきます。  
-----  
-----
9. 本日の説明会に参加されて、良かった点がありましたら、お書きください。今後の参考にさせていただきます。  
-----  
-----
10. 本日の説明会に参加されて、改善した方が良い点がありましたら、お書きください。今後の参考にさせていただきます。  
-----  
-----

ご協力ありがとうございました。